

湯沢市河川愛護会

河川清掃・夜突き・鯉放流

秋田県湯沢市の活動組織「湯沢市河川愛護会」の取り組みを紹介する。

秋田県湯沢市



秋田県湯沢市は、秋田県南の玄関口と言われ、人口4万6千人の市である。秋田米「あきたこまち」が有名で自然環境にも恵まれている。

湯沢市漁業の概要

- アユと溪流釣り



古くから川魚漁が行われており、イワナ、ヤマメ、アユの放流も行っている。また、県外から多くの釣り人が溪流釣りを楽しみに訪れる。

湯沢の河川の現状と課題



- 雄物川の源流で水がきれい
- 最上流なので鮎の遡上が少ない
- 夏になると水量が少なくなる

雄物川は水がきれいだが、夏には渇水し生態系や遊漁者に影響を与えている。また、河川に雪を捨てるため融雪剤の影響も考えられる。

活動組織設立の経緯

- 水源保全林の植栽をきっかけに



10年以上前に水源保全林への植樹を漁協で行ったことが、活動組織設立のきっかけとなっている。

活動組織の概要



活動組織は2つの漁協、2つの企業に加えて、環境学習や河川環境の保全を行っている NPO 等で構成されている。

活動位置図



活動位置図のとおり、河川清掃は3ヶ所、漁村文化の活動は1ヶ所、種苗放流は1ヶ所で実施した。

活動の目標と計画

- 目的はあるが目標は...
- 計画は
河川清掃
夜突き大会
元鯉の放流



利水により河川環境が変化してきたが、残っている自然豊かな河川環境を守ることを目的として、河川清掃他3項目の活動を実施している。

河川清掃



住民がゴミを捨てることもあり、河川清掃を実施しただけでなく、啓発のために立て看板の設置やステッカーの作成も行った。

夜突き大会(昼)



川に親しむため、県の特別採捕許可をもらって夜突き大会を開催した。(補足説明参照)

夜突き大会(夜)



獲れたカジカ、ヤマメ、アユは試食し好評であった。また、人が川に入り、石を動かすことで浮き石ができる効果もあった。

元鯉の放流



この地方では、昔からコイは釣りや食用として親しまれてきたため、地元の人がコイを自由に利用できるよう、漁業権魚種にはしていない。

今後の課題

- 見えないゴミ
- 範囲外のゴミ
- 水質

自然豊かな河川はそこに住んでいる人々が守るものであり、河川ゴミに対する啓発活動を進めていきたい。

ゴミのない川



【補足説明】

「夜突き」は本来、禁止されている漁法であり、本活動でこれを広めるといった意図はない。活動に取り入れた理由は、一般の方々に川の中には多くの生き物が生息していることを見てもらい、川の恵みを学んでもらうためである。実施に際しては、県知事の特別採捕許可を得ており、この活動での採捕結果も報告している。